

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月10日

上場取引所 名

上場会社名 中部証券金融株式会社  
 コード番号 8513 URL <http://www.chusyokin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 湯本 崇雄  
 (氏名) 村瀬 洋

TEL 052-251-1301

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	542	△5.7	66	12.4	94	14.7	72	93.1
21年3月期第2四半期	575	—	59	—	82	—	37	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	18.22	—
21年3月期第2四半期	9.42	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第2四半期	52,691	2,956	5.6	743.63
21年3月期	56,340	2,685	4.8	675.38

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,956百万円 21年3月期 2,685百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	—	—	6.00	6.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,030	△7.9	80	19.2	160	△11.9	110	21.1	27.67

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	4,000,000株	21年3月期	4,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	24,399株	21年3月期	23,800株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	3,975,656株	21年3月期第2四半期	3,979,752株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（平成21年4月1日から同年9月30日までの6か月間）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の悪化により内需が低迷する一方で、海外景気の底入れ感を背景とした輸出と生産の持ち直しが見られましたものの、依然として為替が円高を推移し企業業績の下押しリスクとなるなど、不安定な状況が続いております。

株式市況についてみますと、期初8,351.91円でスタートした日経平均株価は、世界経済の回復期待から6月中旬に終値ベースで10,000円台を付けたものの、直後に下落基調に転じ、7月中旬には8,000円台に迫る水準となりました。その後上昇を続け10,000円台を回復したものの、上値の重い展開が続き、当第2四半期末には10,133.23円と、前事業年度末（8,109.53円）に対し約25%の上昇で取引を終えました。この間、3市場信用取引買残高は、前事業年度末は8,987億円でありましたが、株価の上昇等を受け、当第2四半期末は1兆6,236億円と前事業年度末比約81%の増加となりました。

こうした環境の下、当社の資金運用状況をみますと、まず、貸付金の期中平均残高は62億円と貸借取引貸付金をはじめとする貸付金全般の減少により、前年同四半期(126億円)比63億円の減少となりました。次に、有価証券投資についてみますと、期中平均残高は463億円と前年同四半期(390億円)比73億円の増加となりました。

以上のような資金運用状況の下、当第2四半期の営業収益は、5億42百万円と、前年同四半期(5億75百万円)比32百万円の減収となりました。また、営業費用は2億円と、前年同四半期(2億59百万円)比58百万円の減少となりました一方で、一般管理費は2億74百万円と、前年同四半期(2億56百万円)比17百万円の増加となりました。

この結果、当第2四半期の営業利益は66百万円と前年同四半期(59百万円)比7百万円の増益、経常利益は94百万円と、前年同四半期(82百万円)比12百万円の増益となり、税金関連費用を控除した四半期純利益は72百万円と、前年同四半期(37百万円)比34百万円の増益となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は、一般貸付金及び有価証券投資の減少等により、526億91百万円と、前事業年度末に比べ36億49百万円減少しました。負債は497億35百万円と、運用残高の減少に対応する形で、コールマネー、貸付有価証券代り金を中心に39億19百万円減少しました。また純資産は、有価証券の評価額が改善し29億56百万円と、前事業年度末に比べ2億70百万円の増加となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末の現金及び現金同等物は、コールマネー及び貸付有価証券代り金の減少、投資有価証券の取得、差入保証金の差入による支出に対し、営業貸付金の減少、借入金増加、投資有価証券の売却、差入保証金の回収による収入があったことなどから、前事業年度末に比べ3億43百万円増加し、4億89百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、32億64百万円の支出超過(前年同四半期は130億72百万円の収入超過)となりました。これは主として、営業貸付金の減少及び借入金増加による収入47億52百万円に対し、コールマネー及び貸付有価証券代り金の減少による支出が80億68百万円あったことによります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、36億31百万円の収入超過(前年同四半期は138億10百万円の支出超過)となりました。これは主として、投資有価証券の取得及び差入保証金の差入による支出176億64百万円に対し、投資有価証券の売却及び差入保証金の回収による収入が212億61百万円あったことによります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、23百万円の支出超過(前年同四半期は23百万円の支出超過)となりました。これは、配当金の支払が23百万円あったことによります。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

わが国経済は、平成21年3月期第4四半期(平成21年1月1日から同年3月31日)を底に、一部持ち直しの動きが見られるものの、設備余剰や雇用情勢の悪化などの先行き不透明要因も依然として残り、不安定な状況が続くものと思われ、株式市況につきましても、方向感の定まらない不安定な展開が予想されます。

こうした想定の下、当社といたしましては、中部地区における証券金融の専門機関として、証券界及び投資家の多様化するニーズ等に適切かつ機動的に対応し、貸付金残高の確保等に努めてまいります。通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間の実績及び最近の状況を踏まえ修正いたします。

なお、前回(平成21年8月6日)公表の予想値との差異は以下の通りです。

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	1,030	70	190	100	25	15
今回修正予想 (B)	1,030	80	160	110	27	67
増減額 (B-A)	—	10	△30	10	—	—
増減率 (%)	—	14.3	△15.8	10.0	—	—
前期実績	1,118	67	181	90	22	83

また、業績予想につきましては、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は公表予想値と異なる場合があります。

## 4. その他

## (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	289,129	145,309
有価証券	400,000	240,288
貸借取引貸付金	338,179	228,771
一般貸付金	5,859,154	6,518,789
貸借取引貸付有価証券	7,713	8,039
その他	371,568	263,038
貸倒引当金	△3,815	△4,102
流動資産合計	7,261,929	7,400,132
固定資産		
有形固定資産	61,644	59,252
無形固定資産	271,323	303,721
投資その他の資産		
投資有価証券	44,646,120	47,580,127
繰延税金資産	6,132	154,152
その他	479,624	880,305
貸倒引当金	△35,388	△37,260
投資その他の資産合計	45,096,488	48,577,325
固定資産合計	45,429,456	48,940,299
資産合計	52,691,386	56,340,432

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
コールマネー	12,000,000	14,000,000
短期借入金	37,000,000	32,800,000
未払法人税等	21,578	65,819
貸付有価証券代り金	7,713	6,075,720
担保金	435,000	440,000
預り金	4,801	4,026
預り有価証券	7,713	8,039
賞与引当金	10,534	10,513
役員賞与引当金	3,000	6,000
その他	41,870	31,738
流動負債合計	49,532,211	53,441,857
固定負債		
退職給付引当金	137,462	129,782
役員退職慰労引当金	65,354	83,339
固定負債合計	202,816	213,121
負債合計	49,735,027	53,654,978
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
利益剰余金		
利益準備金	50,000	50,000
その他利益剰余金		
配当準備積立金	191,000	191,000
圧縮記帳積立金	18,009	18,138
別途積立金	1,530,000	1,530,000
繰越利益剰余金	864,373	815,674
利益剰余金合計	2,653,383	2,604,813
自己株式	△5,685	△5,588
株主資本合計	2,847,697	2,799,225
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	108,660	△113,771
評価・換算差額等合計	108,660	△113,771
純資産合計	2,956,358	2,685,453
負債純資産合計	52,691,386	56,340,432

(2) 【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業収益		
貸付金利息	168,740	83,433
借入有価証券代り金利息	—	4
受取手数料	25,251	3,400
有価証券貸付料	1,924	2,730
有価証券利息配当金	379,136	452,517
営業収益合計	575,052	542,087
営業費用		
支払利息	210,061	153,372
支払手数料	47,702	45,131
有価証券借入料	1,381	2,397
営業費用合計	259,145	200,902
営業総利益	315,907	341,184
一般管理費	256,383	274,279
営業利益	59,523	66,904
営業外収益		
投資有価証券売却益	229,107	657,062
デリバティブ取引運用益	252,364	—
その他	4,542	2,187
営業外収益合計	486,014	659,249
営業外費用		
投資有価証券売却損	436,851	120,267
デリバティブ取引運用損	—	511,490
その他	26,441	102
営業外費用合計	463,293	631,860
経常利益	82,245	94,294
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,159
特別利益合計	—	2,159
特別損失		
固定資産除却損	—	15
投資有価証券評価損	125	—
特別損失合計	125	15
税引前四半期純利益	82,119	96,439
法人税、住民税及び事業税	51,104	24,480
法人税等調整額	△6,485	△468
法人税等合計	44,619	24,012
四半期純利益	37,499	72,427

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	82,119	96,439
減価償却費	3,744	34,995
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28	21
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,000	△3,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24,181	△2,159
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,375	7,680
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,931	△17,985
投資有価証券売却損益 (△は益)	207,743	△536,795
投資有価証券評価損益 (△は益)	125	—
固定資産除却損	—	15
デリバティブ取引運用損益 (△は益)	△252,364	511,490
受取利息及び受取配当金	△548,050	△536,047
支払利息	210,061	153,372
その他の損益 (△は益)	23,575	△904
営業貸付金の増減額 (△は増加)	2,385,527	552,099
借入有価証券代り金の増減額 (△は増加)	—	△8,000
コールマネーの増減額 (△は減少)	6,500,000	△2,000,000
借入金の増減額 (△は減少)	4,150,000	4,200,000
担保金の増減額 (△は減少)	20,000	△5,000
貸付有価証券代り金の増減額 (△は減少)	8,516	△6,068,006
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2	△88
その他の資産の増減額 (△は増加)	△21,297	7,651
その他の負債の増減額 (△は減少)	△5,890	△997
小計	12,798,325	△3,615,220
利息及び配当金の受取額	502,171	565,506
利息の支払額	△209,476	△145,988
法人税等の支払額	△18,498	△68,447
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>13,072,523</b>	<b>△3,264,150</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△16,005,570	—
有価証券の償還による収入	18,600,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	△812	△5,004
投資有価証券の取得による支出	△45,241,179	△17,414,416
投資有価証券の売却による収入	29,230,757	21,123,269
デリバティブ決済による支出	△29,295	—
デリバティブ決済による収入	285,776	—
差入保証金の差入による支出	△650,000	△250,000
差入保証金の回収による収入	—	137,914
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△13,810,322</b>	<b>3,631,762</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△184	△97
配当金の支払額	△23,748	△23,695
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△23,933</b>	<b>△23,793</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△761,732	343,819
現金及び現金同等物の期首残高	1,345,797	145,309
現金及び現金同等物の四半期末残高	584,064	489,129



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。